

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	神の国諏訪 お宝あそびⅢ
事業主体 (連絡先)	偉功とふれあう楽しい仲間 (会長 三ツ井 磐)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業 (5) 環境、保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	720,540 円 (うち支援金 : 540,000 円)

事業内容

- (1) 歩いて楽しい道づくりのため、従来の4コース(上社の杜、鎌倉・甲州道、城下町、寺町・酒蔵の4コース)で実施。前宮コースは延伸させた。
- (2) ホームページ制作。多様な景品引き渡しに対応。
- (3) 巡回展示事業＝「諏訪に足跡を遺した武将の面々」6作品を公共施設に巡回展示。
- (4) 「お父さんお母さん連れてって」＝お宝あそびをした家族向けに、地球こま・湖盆点前・人形劇を8月から12月まで、月に一回イベント開催。



【寒天工場を視察】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 「対象目標別達成状況
地元コレクター60名(100%)、観光客20名(33%)、小学生200名(111%) ⇒ 総計93%
2. ホームページ「景品紹介サイト事業」
アクセスカウンター＝2月15日<現在207>
3. 巡回展示 6地区の巡回展示事業実績⇒8,953人
4. イベント開催事業
(1) 父さんお母さん連れてって⇒延べ126人
(2) 駅からハイキング企画コラボ。
上諏訪駅利用客261名内20名がお宝あそびに参加。

【目標・ねらい】

- ① 巡回展示は継続したい
- ② 児童・生徒へ作品の継承が課題
- ③ 誰もがができるものづくり普及
- ④ 偉功作品制作を楽しみたい

※自己評価【 B 】

【理由】偉功作品の伝承は学童の皆さんに伝承が理想である。その伝承に端緒を掴めたことは成功であった。費用の捻出にまだ模索中。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

偉功作品は毎年15作品をめどに楽しんで作り込みたい。
伝承手段としてのお宝あそびは

- (1) 偉功作品の巡回展示はテーマを決めて継続していきたい。
- (2) 偉功物語を伝承させるべく、格段の工夫と演出が必要となる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある